

2007 年度

科目名 文化財学外書講読Ⅱ	対象学科・学年 研究科前文1回生 研究科後文1回生	担当者 犬木 努
授業テーマ 諸外国の考古学を学び、日本考古学を学ぶ手がかりとする		
授業の概要と目標 欧米の考古学関連書を輪読し、諸外国の考古学の方法論や分析手法についての基礎的な知識を習得するとともに、日本考古学の現状を考える手がかりとする。外書を読むだけではなく、関連テーマの日本語文献も併読し、両者を比較検討していく。		
評価方法 ①授業時の英文和訳の出来具合、②授業時の発表内容、②レポート・試験の成績、③出席点		
テキスト 講義時にプリント（テキスト）を配布する。 『プログレッシブ英和中辞典』	著者	出版社 小学館
参考書 講義中に適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 （１）下記書籍を読み進めていく。 Colin Renfrew & Paul Bahn, Archaeology （２）欧米考古学に関連する日本語文献を精読する。 （３）各自の専門テーマに即して、（１）（２）に関連するテーマで発表してもらい、議論を深める。 ※内容の一部変更の場合あり。 ■『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）を用いるので、毎回持参してください。もっていない人は、購入すること。 ・なお、旺文社『新英和中辞典』または三省堂『グランドコンサイス英和辞典』でも可。他の辞書は使用不可（自宅での使用は不問）。 ・また、講義中の電子辞書は不可とする（自宅での使用は不問）。		